

第124期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

DiD 大同工業株式会社

DiD



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第124期第2四半期累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長 新家康三

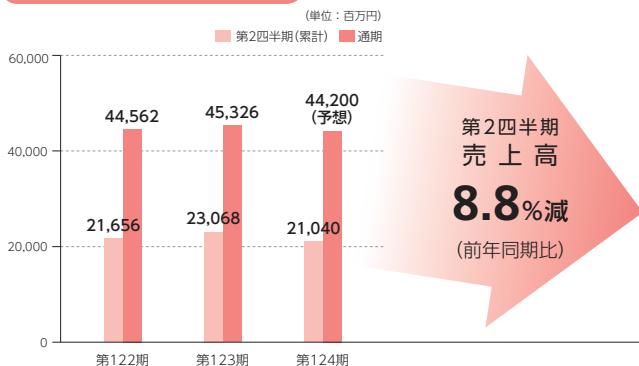
事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国にて個人消費や雇用が増加し景気回復が続いたものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国の景気減速等により先行き不透明な状況が続きました。国内においては、金融・財政政策の取組みにより回復基調にあります。円高の進行、世界経済の下振

れリスク等により、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、熊本地震や円高による影響を受けたものの、北米や欧州市場において付加価値の高いチェーンの受注が好調に推移したことに加え、国内・海外の生産拠点において原価管理の

売上高



営業利益



徹底を図る等収益の改善に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、210億40百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は13億61百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は13億99百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億91百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、全体としては引き続き景気の回復が見込まれますが、米国の金融政策正常化による影響、東南アジアや南米など新興国での政情不安に加え、イギリスのEU離脱問題や米国新政権が世界経済に及ぼす影響による先行き不透明感が懸念されるなど、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは『たゆまぬ挑戦で未来を切り拓く』をスローガンとする第10次中期経

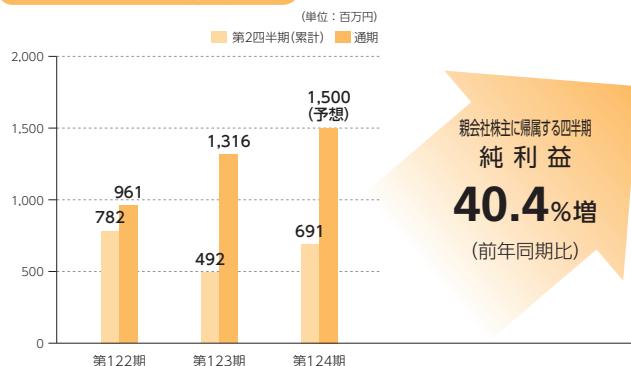
営計画（2015～2017年）の2年目を迎え、ものづくり企業としての原点に立ち返り、事業領域・技術領域の拡大を図るとともに、成長市場・成長分野の取り込みを行って参ります。また、多様な人財の活用と次世代を担う人財を育成することにより、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日本

熊本地震の影響等により二輪車用完成車メーカーからの受注が低調に推移するとともに、農業機械用ホイールにおいてアセアン諸国での干ばつによる生産調整の影響を受け受注が低調であった結果、売上高は108億70百万円となりました。

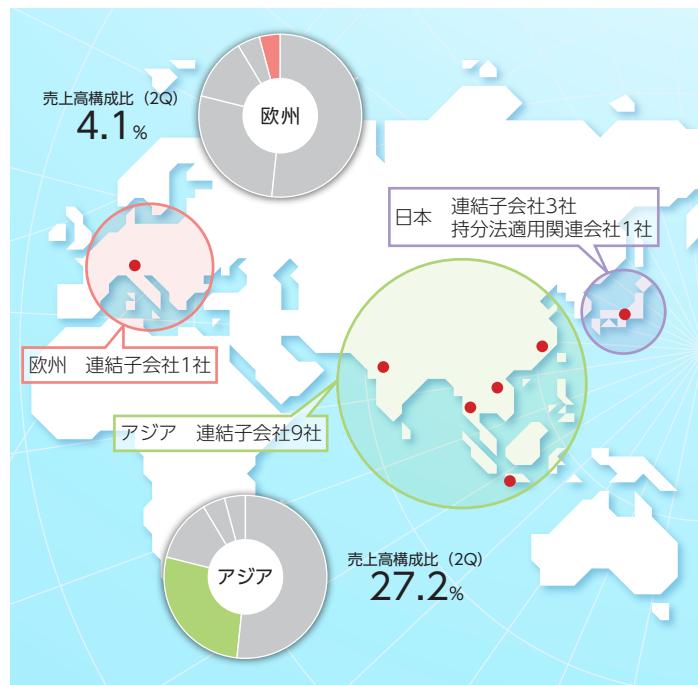


● ご参考 ●

仕向地別セグメント

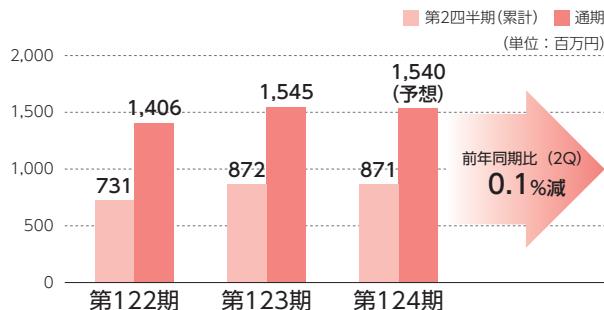
(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

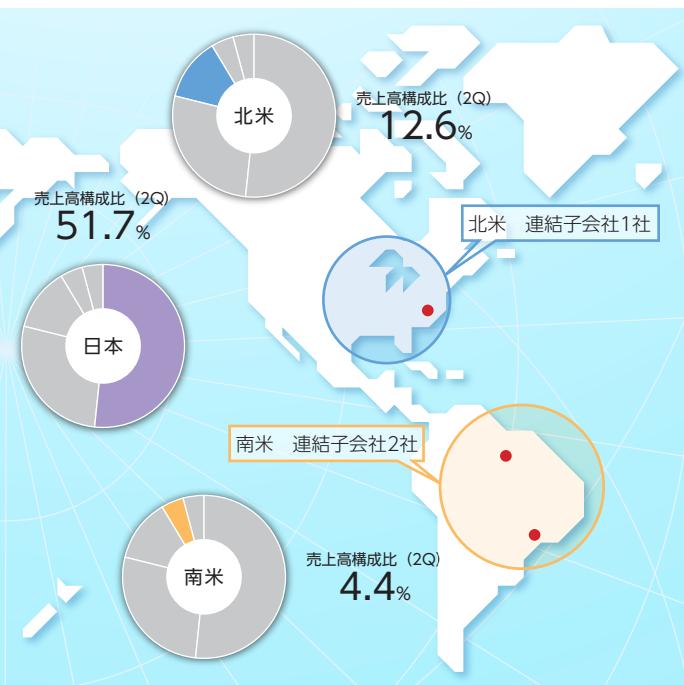
	売上高 (百万円)	構成比	前年同期比
日 本	9,646	45.8%	7.0%減
ア ジ ア	6,249	29.7%	15.5%減
北 米	2,565	12.2%	10.9%増
南 米	1,164	5.5%	26.8%減
欧 州	1,228	5.8%	0.4%減
そ の 他	186	1.0%	10.5%増



● 欧 州

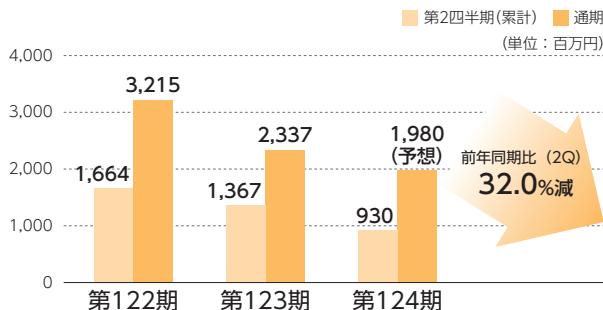
二輪車用チェーンにおいて、完成車メーカー及び補修市場向けともに受注が堅調に推移したものの、為替の円高の影響を受けた結果、売上高は8億71百万円となりました。





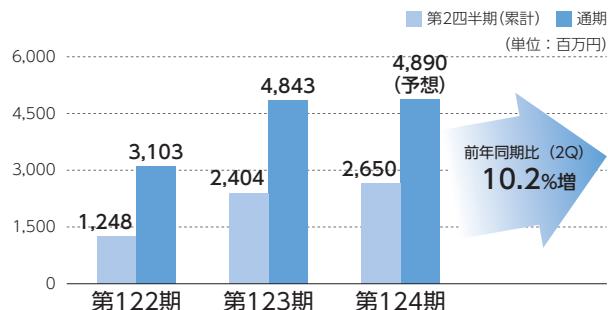
● 南 米

二輪車用チェーンにおいて、市場の景気低迷により、完成車メーカーの受注が低調に推移し、産業機械用チェーンも厳しい受注状況であったことに加え、為替の円高の影響を受けた結果、売上高は9億30百万円となりました。



● 北 米

四輪車用チェーンにおいて、完成車メーカーの現調化により受注が増加したことに加え、昨年後半より新機種 of 量産納入を開始したこともあった結果、売上高は26億50百万円となりました。



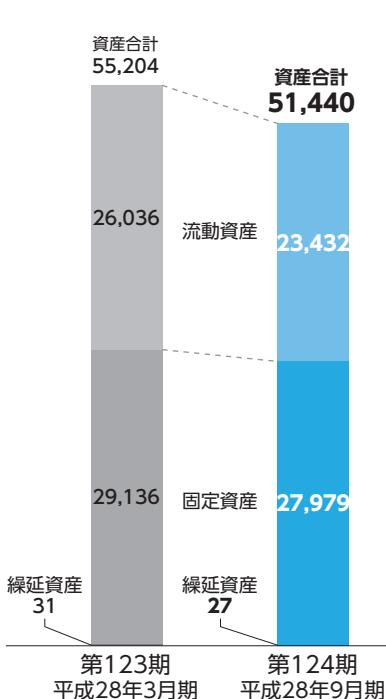
● アジア

コンベヤ関連においてタイの搬送関連設備の受注が低調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいてインドネシア、ベトナムを中心に受注が低調であった結果、売上高は57億18百万円となりました。



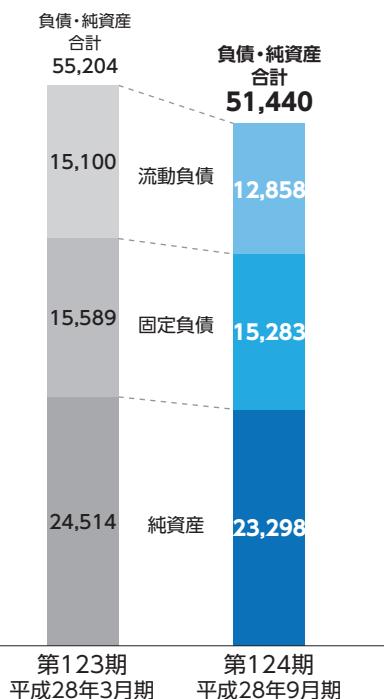
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

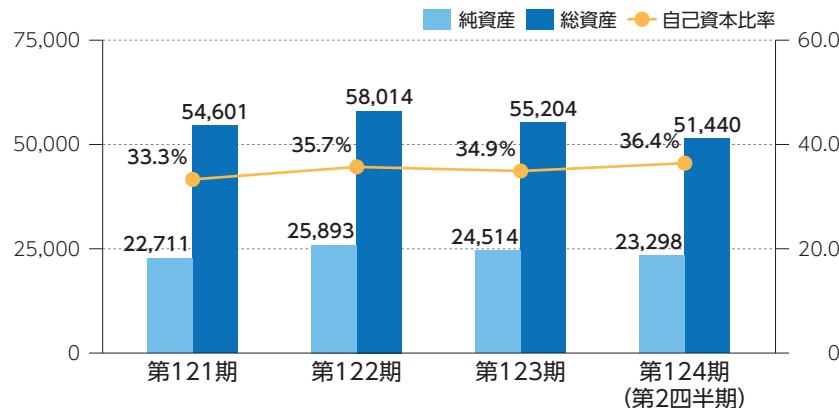


ポイント解説

総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、リース資産、投資有価証券が減少したことなどにより、前期末と比べ37億64百万円減少しました。負債は、支払手形及び買掛金、借入金、退職給付に係る負債が減少したことなどにより、25億48百万円減少しました。純資産は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定、非支配株主持分が減少したことなどにより前期末と比べ12億15百万円減少しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

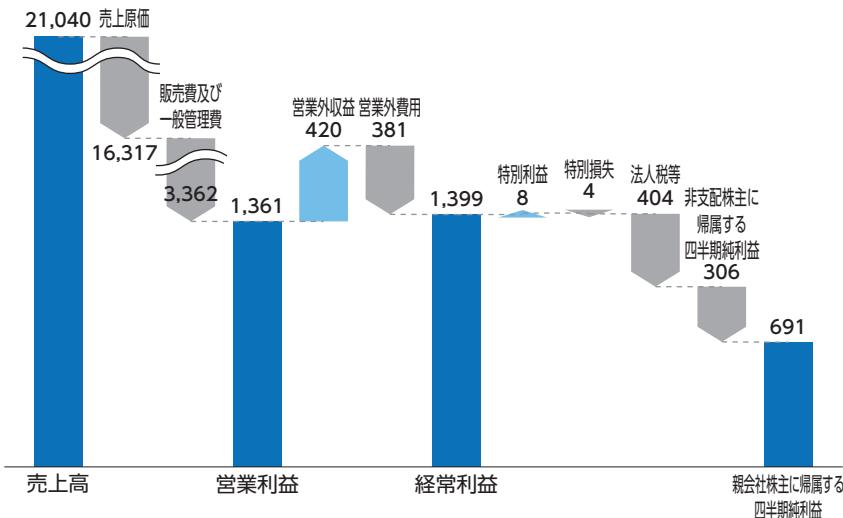


ポイント解説

自己資本比率は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加するとともに総資産が大きく減少したことで、前期末と比べ1.5ポイント増加の36.4%となりました。

● 損益の状況 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

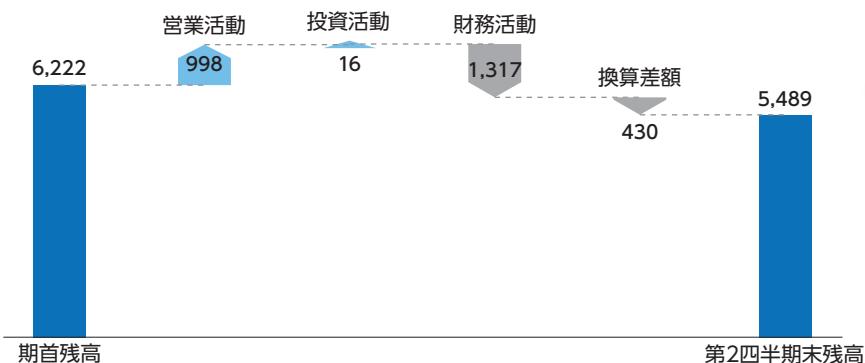
売上面では、北米においては四輪車チェーンが好調に推移したものの、アジアや南米において受注が低調に推移したことに加え、国内においては熊本地震や円高による影響を受けた結果、前年同期を下回りました。収益面では、高付加価値チェーンの積極的な拡販に努めつつも、国内・海外の生産拠点における原価管理の徹底を図る等、収益の改善に努めた結果、前年同期を上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
第124期 平成28年9月期	21,040	1,361	1,399	691
第123期 平成27年9月期	23,068	1,396	1,261	492

● キャッシュ・フローの状況 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、退職給付に係る負債及び仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費を計上したこと等により、9億98百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入、有形固定資産の売却による収入等により16百万円の獲得、財務活動によるキャッシュ・フローは借入の返済による支出、配当金の支払、非支配株主への配当金の支払等により13億17百万円の使用となりました。

会社の概況

商号：大同工業株式会社

設立年月日：昭和8年5月25日

資本金：27億2,637万円

従業員：623名（個別） 2,205名（連結）

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者（定年後再雇用社員、派遣社員等）は含んでおりません。

事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地

福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20

動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1

東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（ユニゾ人形町三丁目ビル）

大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7

浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2

熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

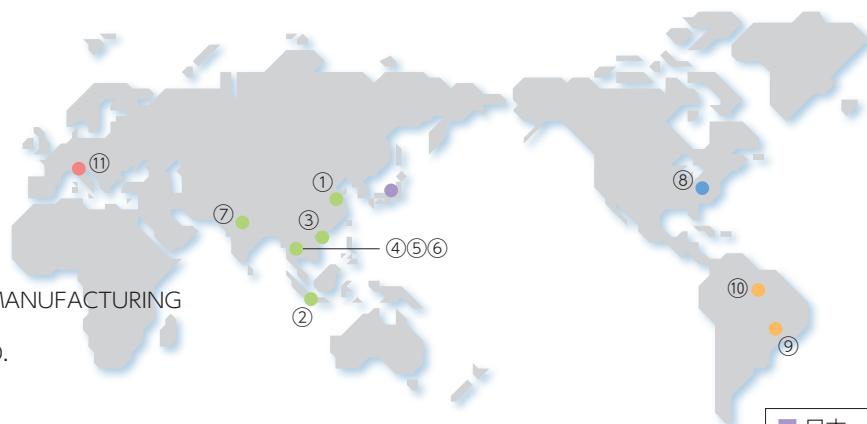
グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ブラジル ⑨ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑪ DID EUROPE S.R.L.



会社役員の内訳

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
代表取締役副社長	新家啓史
専務取締役	立田康行
常務取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
取締役	澤保
取締役	棚橋健一
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	東森正則
監査役	廣田信也

(注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。
 2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏、廣田信也氏は社外監査役であります。
 3. 当社は、澤保氏、棚橋健一氏、廣田信也氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株 (自己株式52,766株含む)

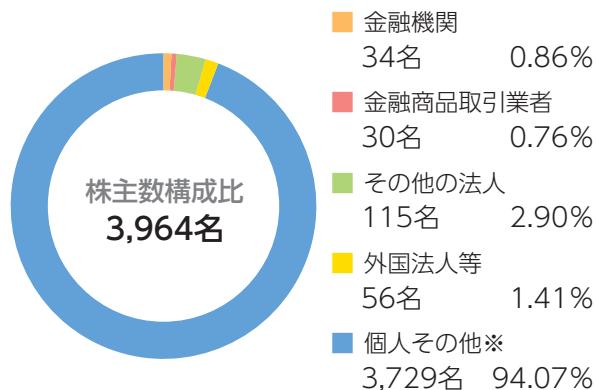
株主数：3,964名

大株主（上位10名）

株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,368千株	5.03%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,329	2.82
加賀商工有限会社	1,313	2.79
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 みずほ銀行	1,291	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,177	2.50

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

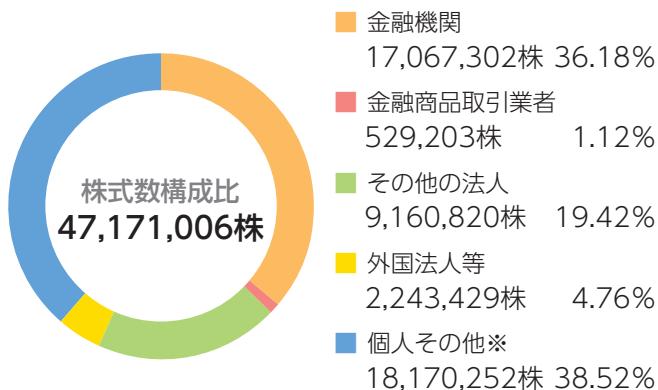
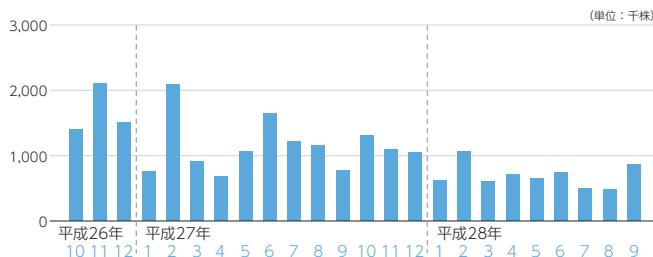
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

■ アジア営業統括拠点開設

2016年7月、当社グループのアジアでの営業統括拠点となる「Daido Bangkok office」（大同バンコク事務所）をタイ・バンコクに開設しました。この度の事務所開設は、東南アジア・南アジア地域における二輪車用製品の最適な営業体制の構築を目的とし、本社と各子会社間で一体的かつ効率的に運営できる体制を構築し、意思決定のスピードならびに顧客対応力を上げることにより、競合が激化する同地域において更なる競争力強化を図ってまいります。

アジア営業統括拠点の概要

名 称：Daido Bangkok office

（大同バンコク事務所）

所在地：1 Soi Bangna-Trad 25, Bangna-Trad Road, Bangna Bangkok 10260 MD Tower 9F



▲エントランス



▲アジア営業統括拠点開設

■ DIDスポンサーチームが鈴鹿8耐2連覇

二輪業界の一大イベントである真夏の祭典2016 FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦「鈴鹿8時間耐久ロードレース」（鈴鹿8耐）の決勝において、DIDスポンサーチームであるYAMAHA FACTORY RACING TEAMが、8時間で218周の新記録を樹立し、昨年に続き2連覇を達成しました。

同チームのマシンには、弊社製品であるレース専用DIDドライブチェーンが装着されており、世界一過酷と評される真夏の8時間スプリント耐久レースにおいて、マシンのポテンシャルを最大限に引き出し優勝に貢献することができました。DIDチェーンの性能・品質の高さを実証すると同時に、同チームのマシンの両サイドに付された「D.I.D」のロゴマークを通じて、当社の存在感を示すことができました。

今後とも、世界の名だたるレースにおけるサポートを通じて、「D.I.D」ブランドの更なる確立と普及に努めるとともに、グループ全体の企業価値の向上に資する取り組みを推進してまいります。



▲鈴鹿8耐を疾走する様子

■ ローラチェーンQ&Aサイトの紹介

この度、当社ホームページ上に「ローラチェーンQ&A」のページを新たに開設しました。これは、産業機械用ローラチェーンに関して、お客様からよく寄せられるお問い合わせをまとめた、技術情報専用のページです。ローラチェーンに関する基本情報、チェーンの選定、使用方法、トラブル・お悩み、メンテナンス関連のカテゴリーに分かれており、取り扱い動画を見ることが可能です。是非一度ご覧になってください。

The screenshot shows the DID website homepage. At the top, there is a navigation bar with the DID logo and company name. Below it, there are several promotional banners and a grid of menu items. The 'Q&A' link in the grid is highlighted with a red box. A blue arrow points from this box to the right, indicating the transition to the Q&A page.

The screenshot shows the DID 'ローラチェーンQ&A' page. The page has a clean, professional layout. At the top, there is a search bar and a '検索' button. Below that, there is a 'Category' section with buttons for '基本情報', 'チェーン選定', '使用方法', 'トラブル・お悩み', and 'メンテナンス関連'. The main content area is titled 'ローラチェーンQ&Aの一瞥' and contains three Q&A articles, each with a diagram and a brief description.

Q1. 同級歯節幅が生じるのでしょうか？また、節間幅はどれくらいあるのですか？これを完全に除くことは出来ませんか？
 ※トラブル・お悩み
 内リンクは、内プレートに固定しているため、同じですが外リンク幅は小さくなっています。また、チェーンを使用している時は、チェーンに力が作用しているため、ピンにはわずかな変位が生じます。これを避けたための対策… 設定を参照

Q2. チェーンの部品ピッチは呼びピッチと同じですか？
 ※基本情報
 205や150、A101に適合する内チェーンの寸法が標準とされている場合があります。寸法の割と正確なピッチと外チェーンの呼びピッチが異なる場合があります。チェーンを引く場合は、ローラ幅とピッチ… 設定を参照

Q3. 動力伝達用チェーンの駆力分布
 ※基本情報
 上記は、一般的な動力伝達用チェーンで、駆力分布を示したものです。奥が100kgとした場合、駆動力の1/3がピンとピン間のリンク間で、のリンク間では100kgの力が生じています。スプロケット上では… 設定を参照

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	1,000株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6373

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

